

ソ
聯邦新憲法概観

323.68

G13s



323.68

G13s



0013758000

0013758-000

323.68-G13s

「ソ」聯邦新憲法概観

外務省調査部第三課・編

外務省調査部

1937

ACD



調第九七號

昭和十二年四月

「ソ」聯邦新憲法概觀

外務省調查部

32

G

32368
G/38

「ソ」
聯邦新憲法概觀



81518



調査部第三課配屬外務書記生伊部政一
ナリ



212109

「ソ」聯邦新憲法概観

目次

第一節 憲法改正ノ原因ト其ノ準備……………	一頁
第二節 新憲法草案ノ發表ヨリ確認マデ……………	五
第三節 「スターリン」ノ報告演說……………	八
第四節 新憲法ノ特徴……………	一六
第五節 「ソ」聯邦新憲法(全譯)……………	二一



聯邦新憲法概觀

第一節 憲法改正ノ原因ト其ノ準備

「ソヴィエト」聯邦ハ從來「プロレタリアート」獨裁ヲ誇リタル其憲法ヲ改正スルコトニ決シタルガ元來「ソヴィエト」憲法ハ同國ノ國體乃至政體ノ基本制度及原則ヲ闡明且反映スルモノナレバ其基本制度及原則ノ變遷ト共ニ憲法モ亦變更セラル可キモノトセラレ決シテ靜止的ノモノニハ非ズ從來ノ所謂「レーニン」憲法ハ一九二一年中葉ヨリ一九二八年中葉ニ到ル新經濟政策時代ノ國家基本制度及原則ヲ規定セルモノニシテ其特徵ハ左ノ三原則ニ歸着セシムルコトヲ得

(イ) 世界革命主義 「レーニン」憲法ハ第一編ニ於テ世界赤化方針ヲ宣言シ全世界ヲ打ツテ一丸トスル「ソヴィエト」社會主義共和國ノ完成ヲ目的トスル旨ヲ明ニセリ

(ロ) 階級の特權ノ擁護 共產主義ノ完成スル迄ハ階級的對立ノ存スル國家ノ必然性ヲ強調シ「レーニン」憲法ハ「プロレタリアート」ノ階級の特權ヲ擁護スル趣旨ヲ明ニセリ

(ハ) 専制主義的統治組織 「プロレタリア」ノ利益ノ爲専制政治形態ノ採用ヲ必要トシ之ヲ「プロレタリア」獨裁ナル名ヲ以テ運用セルガ事實上ハ「プロレタリア」階級ノ「アヴァンガード」ト稱セララルル共産黨ノ「ヘゲモニー」ヲ掌握スル所トナリ居レリ

以上ノ三點ハ新經濟政策ノ經濟機構ガ公共財産ヲ基調トシテ國家計畫經濟ニヨリテ運用セララルル社會主義要素ノミナラズ私有財産ヲ基調トシテ自由放任ノ市場經濟ニヨリテ運用セララルル資本主義的要素ヲモ包含シタル以上當然ノ歸結ト爲サレ幹部間ニ大ナル意見ノ相違無カリシモ新經濟政策ハ元來百歩前進センガ爲ノ一步ノ退却ト看做セルヲ以テ次ノ段階ニ於テ如何ナル政策ヲ採用ス可キヤノ問題當然ニ起リ來リ此處ニ「スタリニズム」ニヨリテ代表セララルル幹部派ノ論ト「トロツキズム」ニヨリテ代表セララルル左翼反對派ノ論トノ對立生ズルニ至レリ

「トロツキズム」ノ重點ハ世界ノ永久革命(「バーマネント・レヴオリューション」)ニシテ「トロツキー」ニ依レバ世界革命ハ一國ノミノ革命ニテハ無意味ナリ「プロレタリア」意識ノ最モ濃厚ナル先進工業國ノ數國ニ同時ニ起ル可キモノナリ故ニ露西亞ノ如キ中世的農業國ニ於ケル革命ノミニ満足ス可キニハ非ズ百歩前進センガ爲ノ一步ノ退却トシテ採用セラレタル新經濟政策ハ即チ次に來ル可キ「バーマネント・レヴオリューション」ヘノ準備ニ外ナラズト解セラレタリ

之ニ反シテ「スタリリン」ニ依レバ國內ノ非社會主義的分子ヲ撲滅シテ完全ナル社會主義ヲ建設シ以テ國家生産力ヲ増大スルヲ第一義トセルヲ以テ世界革命ハ第二ノ順番ニ置カレタリ百歩前進センガ爲ノ一步ノ退却ハ即チ一國社會主義ヘノ準備ニ外ナラズト解セラレタリ

斯ノ如クニ「レーニン」憲法ノ包藏スル將來性ヲ解決センガ爲ニ同憲法ハ「スタリニズム」ト「トロツキズム」トノ二個ノ矛盾ニ迄發展セルガ此ノ矛盾ハ「ネツプ」ノ存続ト共ニ愈々顯著トナリ「ネツプ」ニヨリテ勃興セル小資本階級即チ都會ニ於ケル「ネツプマン」、農村ニ於ケル「クラーク」ガ次第ニ金權ヲ掌握シ平時ニ於ケルノミナラズ戰時ニ於ケル脅威トナルニ至レリ

「スタリニズム」ト「トロツキズム」ト何レガ正統派「マルクシズム」ナリヤニ關シテハ當時大イニ論議セラレタル處ナルガ先ヅ實力ニ於テ「スタリニズム」ノ勝利トナリ幹部派ハ此處ニ第一次及第二次五年計畫ヲ立案シテ一舉ニ國內「ブルジョア」階級ヲ一掃シ産業ノ大建設ヲ斷行シ一國社會主義化ニ邁進セリ

此ノ結果「ネツプ」時代ノ政治社會機構ハ一變シ之ヲ反映スル「レーニン」憲法ノ改正ヲ必要トスルニ至レルガ同憲法ノ變更問題ハ始メ一九三五年二月ノ聯邦共産黨中央委員會ノ總會ニ於テ之ヲ第七回聯邦「ソヴェト」大會ニ黨中央委員會ノ名ニ於テ立案提議ス可キコトニ決定セラレ之ニ

基キテ同年二月六日ノ聯邦「ソヴィエト」大會ニ於テ「モロトウ」ノ憲法變更ニ關スル報告行ハレ次デ要領左ノ如キ決定ヲ見タリ

(イ) 差別的選舉ヲ平等選舉ニ、間接選舉ヲ直接選舉ニ、公開投票ヲ祕密投票ニ變更シ以テ選舉制度ヲ民主化スルコト

(ロ) 社會主義財產ノ鞏化ニ伴ヒ憲法ノ社會的經濟的基礎ヲ精密化スルコト

(ハ) 憲法ノ改正條文ノ起草ニ關スル憲法委員會ノ選舉ヲ「ソ」聯邦中央執行委員會ニ提議スルコト

(ニ) 「ソ」聯内「ソヴィエト」機關ノ最近ノ總選舉ヲ新選舉制度ニ基キテ行フコト

斯ノ如クニシテ翌二月七日附聯邦中央執行委員會ノ決定ニヨリテ憲法委員會々議長「スターリン」外三十名ノ委員選舉セラレタリ

憲法委員會ハ一九三五年七月七日第一回總會ヲ開催シ改正準備ノ爲ニ(一)一般問題準備委員會(二)經濟問題準備委員會(三)財政準備委員會(四)法律準備委員會(五)選舉制度準備委員會(六)裁判制度準備委員會(七)中央及地方權力機關準備委員會(八)國民教育準備委員會(九)勞働準備委員會(十)國防準備委員會(十一)外交準備委員會(十二)編纂準備委員會(各準備委員會議長ヨリ成ル)

ヲ組織セリ其後一九三六年五月十五日「スターリン」議長ノ下ニ憲法委員會ノ通常總會開催セラレ編纂準備委員會ノ提出セル憲法改正草案審議セラレ憲法委員會ノ最終的條文ノ確定ヲ見之ヲ最近ノ中央執行委員會ノ會期ニ提出セラレタリ

第二節 新憲法草案ノ發表ヨリ確認マデ

一九三六年六月十一日附ヲ以テ聯邦中央執行委員會幹部會ハ改正新憲法、俗ニ謂フ「スターリン」憲法ノ草案ヲ公表シ以テ全國民ノ批判ニ問フコトトシ併セテ同年十一月二十五日ニ臨時「ソヴィエト」大會ヲ召集シテ改正憲法草案ノ採擇ノ爲之ニ附議スルコトトセリ

爾來「ソ」聯邦當局ハ各機關、企業、工場、軍隊等凡ユル施設ニ於テ同案ヲ説明セシメ各人ニ意見開示ノ機會ヲ與フルト共ニ「イズヴエスチア」「ブラウダ」ヲ始メ同國各新聞雜誌及單行本ヲ以テ同草案ニ關スル幾多ノ論文及解説ヲ發表セシメ且各新聞紙上多大ノ紙面ヲ割キテ廣ク民間ヨリノ意見、提案、修正案ノ投書ヲ掲載セシメタル處其ノ結果十一月五日「ブラウダ」紙ノ報スル所ニ依レハ「ソヴィエト」聯邦内各共和國、州及地方執行委員會ニ對シ憲法草案ニ關スル巨多ノ決議、提案、修正及追加ノ意見提出セラレ各地方「ソヴィエト」機關ハ右意見ノ集成及分類ノ爲忙殺セラ

レタル趣ナリ而シテ聯邦構成共和國、自治共和國、州及地方執行委員會ヨリ報告セラレタル資料ニ基キ「ソ」聯邦中央執行委員會幹部會組織部ニ於テ調査シタル提案及追加ニ關スル意見ノミニテモ一萬三千七百二十一ニ達シ此ノ外全國五百五ニ達スル新聞ニモ掲載セラレ又直接「ソ」聯邦中央執行委員會ニ宛テテ提出セラレタル意見書モ多數ニ達セル趣ニシテ尙右「ブラウダ」紙ノ記事ニ依レハ右諸提案中最モ多キハ草案第一章社會構成、第十章人民ノ基本的權利義務及第十一章選舉制度ニ關スルモノノ由ナリ

是等修正諸提案ヲ基礎トシテ新憲法草案ヲ如何ニ修正シ採擇シ以テ實施ノ運ビニ至ラシム可キカガ臨時「ソヴィエト」大會ノ重要任務ナルハ勿論ナリ

「ソ」聯邦新憲法草案ヲ審議スヘキ第八回臨時聯邦「ソヴィエト」大會ハ十一月二十五日午後五時「クレムリン」ニ於テ開催セラルルコトナリ日程ハ「ソ」聯邦憲法草案ニシテ「スターリン」カ其ノ報告ニ當ルヘキ旨十一月十九日附ヲ以テ「ソ」聯邦中央執行委員會ヨリ公表セラレ同時ニ右第八回「ソヴィエト」大會ノ組織委員會及資格審査委員會ハ十一月二十一日ヨリ其ノ事務ヲ開始スヘキニ付右「ソヴィエト」大會ニ選出セラレタル議員ハ委任狀ノ登錄及其ノ受領ノ爲同事務所ニ出頭スヘキ旨布告セラレタリ

豫定ノ如ク十一月二十五日ヨリ「ソヴィエト」大會開催セラレ劈頭「スターリン」ノ報告演說アリ尙其他要人ノ演說アリタルカ同大會ニヨリテ憲法編纂委員會組織セラレ憲法草案ニ對スル大會トシテノ審議ヲ委託セラルルコトナリ「スターリン」ハ其ノ委員長トナレリ爾來同委員會ニ於テ憲法草案ニ對スル審議行ハレタル處十二月五日大會ニ於テ「スターリン」ハ委員長トシテ同委員ノ採擇セル修正ハ四十三項ニシテ三十二箇條ニ關聯シ居リ他ノ百十四條ハ何等變更ヲ見ス而シテ右修正モ大部分ハ字句ノ變改ニ止マリ實質的意義ヲ有スルハ左記ノ七項ナル旨報告セリ

- 一、原案第八條「コルホーズ」ノ土地利用ニ付無制限トアルヲ無償且無期限トス
- 二、第十條國民ノ私有財産トアルヲ私有財産權ト明定シ且右權利ノ相續ヲ認ム
- 三、第三十五條民族院議員ノ割當ヲ聯邦構成共和國各二十五、自治共和國各十一、自治州各五トシ新ニ特別民族區ヨリ各一名ノ代表ヲ出スコトトス
- 四、第四十條聯邦法律ノ公布ハ各聯邦構成共和國ノ國語ヲ以テ爲スコトヲ明カニス
- 五、第四十八條最高會議議長代理四名ヲ十一名ニ改ム
- 六、第七十七條全聯邦人民委員會部中更ニ國防工業人民委員會部ヲ加フ

七、第四十九條最高會議閉會中幹部會カ宣戰布告ヲ爲シ得ル場合トシテ蘇聯ニ對スル武力侵略ノ

外ニ侵略者共同防衛ニ關スル國際義務履行上必要アル場合ヲ追加ス

尙同日「ソヴィエト」大會ハ左ノ如キ決定ヲ爲セリ

一、同大會編纂委員會ノ提出セル蘇聯邦憲法草案ヲ確認ス

二、新憲法ニ基キ選舉法規ヲ制定シ且聯邦最高會議選舉ノ期日ヲ確定スルコトヲ中央執行委員
會ニ委任ス

三、十二月五日ヲ以テ新憲採擇記念ノ國祭日トス

第三節 「スターリン」ノ報告演說

「スターリン」ハ先ツ第一ニ憲法委員會ノ組織ト其ノ任務トニ付テ説明シ新情勢ニ適應スル社會制度及選舉制度ヲ確立センガ爲憲法委員會ノ組織セラレタル所以ヲ述ヘタリ

第二ニ一九二四年ヨリ一九三六年ニ至ル期間中ニ行ハレタル「ソ」聯國民生活ノ變遷ニ關シテ言及シ新經濟政策時代ニハ國內ニ「ネップマン」及「クラーク」等ノ小「ブルジョア」階級發生シ生産力ハ先進國ニ比シテ未タ發達セス社會主義ニ對スル障害トナリタルモ一九三六年ニ至リテハ國內

ノ社會主義化殆ント完成セラレ生産力ハ著シク増大スルニ至レル點ヲ指摘セリ此處ニ特ニ注目ス可キハ國內ノ階級的構成ニ關シ次ノ如ク說ケル點ナリ即チ社會主義化略々完成セラレタル結果國內ニ「ブルジョア」對「プロレタリア」ノ階級的對立無キニ至リタリト雖モ現段階的生產組織及文化ニ於ケル「ソ」聯邦ニハ未タ(イ)勞働階級(ロ)農民階級(ハ)是等ノ外部層ヲ形成スル「インテリゲンチヤ」ノ三者存續ス尤モ右三者ハ資本主義國家ニ於ケル場合トハ意義ヲ異ニスルニ至レリ

資本主義國家ニ於ケル「プロレタリア」ハ「ブルジョア」ニヨリテ搾取セラルル階級ヲ指スモ社會主義國家ニ於テハ生産手段カ社會化セラレタル結果「プロレタリア」ハ既ニ被搾取階級ニハ非ス勞働者、農民、「インテリゲンチヤ」皆然リ而モ是等ニハ對立關係無ク共同ノ目的、利害ヲ有スル存在ニシテ將來社會主義的生產ノ發達ト共ニ三者ノ關係ハ更ニ緊密化シ階級的區別ハ次第ニ解消スルニ至ラン「インテリゲンチヤ」ノ如キモ勞働者及農民階級ヨリ出テタル者ニヨリテ構成セラレ「プロレタリア」ニ奉仕スルモノトナリタルヲ以テ「ソヴィエト」社會ヲ平等ノ權利ヲ以テ構成スル一員ニシテ「プロレタリア」階級ノ外部層ヲ爲スモノト稱シ得可シ云々ト論シ更ニ之ニ附加シテ「ソヴィエト」社會ハ完全ニ民族問題ヲ解決シ各民族ハ平等ニ親和シ居ルヲ以テ社會機構ノ問

題中ニ民族的對立關係ヲ論スルノ要無キ旨ヲ述ヘタリ

第三ニ新憲法草案ノ基本的特殊性ニ關シテ言及シ新憲法草案カ「ソヴィエト」國民生活ヲ反映スルモノトシテ如何ナル處ニ特殊性ヲ認ム可キヤヲ説キタリ

「スターリン」ハ「ソヴィエト」新憲法ノ特殊性ノ第一トシテ「各人カ其能力ニ應シテ勞働シ其勞働セル質量ニ應シテ給付ヲ受クル」ノ社會主義的原則ヲ明ニセルコトヲ舉ケタリ特殊性ノ第二トシテ土地及生産手段ノ國有化ニ基ク社會主義的經濟制度ヲ舉ケ勞働權、休息權等々カ之ニ基キテ實現シ得ル旨ヲ述ヘタリ特殊性ノ第三トシテ政權カ勤勞階級ニ屬スル點ヲ舉ケ社會秩序カ「プロレタリア・デイクテーターシップ」ニ依リテ維持セラルル點ヲ舉ケ「プロレタリア・デイクテーターシップ」ノ嚴存スル所以ヲ強調セリ特殊性ノ第四トシテ新憲法ノ「インターナショナル」性ヲ舉ケ人類一切ノ種族ニ對シテ平等ニ開放セラルル點ヲ述ヘタリ特殊性ノ第五トシテ「ソヴィエト」憲法ニヨリテコソ眞ノ「デモクラシー」ノ存スルコト及男女同權ヲ強調セリ特殊性ノ第六即最後ニ「ソヴィエト」國民ニ對スル正當ナル權利義務ノ實現ニ關シ單ナル宣言ト文章トニ止マラス眞ニ之ヲ保障シ居ル點ヲ説ケリ

「ソヴィエト」新憲法ノ特徴ハ以上ノ六點ニ存スルカ右ニ關シ尙特記ス可キハ「スターリン」カ憲法ナルモノカ現實ノ國民生活ノ規範ナルコトヲ説キ法律萬能論ヲ斥ケタル點ナリ即チ憲法ト綱領トハ本質的ニ異ル兩者ヲ混同スヘキニ非ス綱領トハ現ニ存在セス將來獲得セラル可キモノニ關スルモノニシテ憲法トハ既ニ獲得セラレ現ニ存在スルモノニ關スルモノナリト述ヘタリ

第四ニ憲法草案ニ對スル「ブルジョア」的批判ニ關シテ言及シ右批判ハ大體五種ノ「グループ」ニ分タルノ旨而シテ是等ニ對スル「スターリン」トシテノ反駁ヲ試ミタリ

第一ノ「グループ」ハ新憲法草案ヲ以テ事實無根ノモノトシテ默殺セントスル派ニシテ默殺モ一種ノ批判ト稱シ得可キモ「ソ」聯新憲法草案ハ事實無根ニ非サルヲ以テ斯ノ如キ僞瞞的態度ハ大ナル失敗ナリト論セリ

第二ノ「グループ」ハ新憲法草案其物ノ存在ヲ認ムルモ全クノ空文ニ過ギズシテ實現性ヲ否定スル派ナルガ「ソ」聯邦ハ斯カル「グループ」ノ謂フガ如キ單ナル地理的概念ニハ非ズ既ニ新憲法草案中ニ規定セラレアル社會主義制度ヲ實現シ居ルモノニシテ新憲法草案ハ斯カル既ニ存在シ居ルモノヲ登録シ法的ニ確認シ居ルヲ以テ之ヲ以テ空文ト觀ルガ如キ論ハ全クノ認識不足ナリト論駁セリ

第三ノ「グループ」ハ新憲法草案ニ對シ一定ノ評價ヲ認ムルモ尙且各條項ニ付テ其實現性ヲ疑フ

派ニシテ之ニ對シテモ右ト同様ノ反駁ヲ爲シ居レリ

第四ノ「グループ」ハ新憲法草案ヲ以テ「プロレタリア」獨裁制ヲ放棄シ社會主義ヨリ「廻レ右」ヲ爲シタルモノナリト觀ル派ナルガ之ニ對シ獨裁政治トハ強力ナル體制ヲ以テ「プロレタリア」政治ヲ強化スルモノノミノ謂ニハ非ズ「デモクラシイ」體制ヲ以テ「プロレタリア」政治ヲ發展セシムルコトモ亦「プロレタリア」獨裁政治ナリト論駁セリ

第五ノ「グループ」ハ「ソ」聯邦ガ「プロレタリア・デモクラシイ」國家ニナリタリト説カルルモ實際ハ舊態依然タル「デイクターシップ」ニ何等ノ變化無シト論ズル派ニシテ特ニ此ノ論ハ「ソ」聯邦ニ結黨ノ自由無キヲ指摘セリ「スターリン」ハ此ノ論ニ對シテハ元來政黨ナルモノハ階級ノ部分ニシテ尖端ヲ爲スモノナリ一國家ニ數個ノ政黨ノ存スルコトハ利害一致セズ相反目スル諸階級ノ存在スルヲ意味ス然ルニ「ソ」聯邦ニ於テハ凡テ「プロレタリア」階級ノミニシテ更ニ勞働階級、農民及「インテリゲンチヤ」ニ分タルルコト前述ノ如キモ夫等ハ利害關係凡テ一致ス故ニ「ソ」聯邦ニ於テハ「プロレタリア」ノ利益ノ爲ニ其ノ指導的地位ヲ占ムル一個ノ共產黨ノミ存ス可キガ充分ニシテ且必要ナルコト勿論ナリ諸階級ノ利害關係對立スル社會ニ於テハ「デモクラシイ」ハ結局強者ノ爲ノ「デモクラシイ」トナリ眞ノ「デモクラシイ」ニハ非ザルニ至ル

可シ故ニ共產黨ノ指導スル「ソ」聯邦ニ於テノミ眞ノ「デモクラシイ」實現セラルルモノナリト論駁セリ

第五ニ「スターリン」ハ憲法草案ノ修正ト補足トニ對スル各方面ノ意見ニ對シテ批判ヲ試ミ是等各種ノ意見ヲ第一、第二及第三ノ範疇ニ分チタリ

第一ノ範疇ニ屬スル修正及補足意見ハ保險、「コルホーズ」、商、工、金融問題等ニ關シ更ニ多クノ規定ヲ加ヘントスルモノナルガ、之ニ對シテ「スターリン」ハ是等ハ將來ノ立法機關ノ管掌事項ニシテ憲法ハ是等詳細ニ亘ル法律ノ爲ノ根本法律ナルヲ以テ別個ノモノナル旨ヲ述ヘタリ

第二ノ範疇ニ屬スル修正及補足意見ハ過去ニ於ケル「ソ」政權ノ史的意義及將來ニ於ケル共產主義運動ニ對スル方針等ニ關スル基本的事項ヲ挿入セントスルモノナルガ之ニ對シテ「スターリン」ハ是等ハ憲法トハ別個ノ方法ヲ以テ宣明シ得ルモノニシテ憲法ハ現段階ニ於ケル社會ヲ表現スルモノナリト述ベタリ

第三ノ範疇ニ屬スル修正及補足意見ハ新憲法草案ノ内容ニ觸ルルモノニシテ之ニ對シテ「スターリン」ハ次ノ如クニ批判ヲ試ミタリ

(イ) 憲法草案第一條ニ謂フ「勞働者及農民ノ國家」ナル語ニ對シテ「インテリゲンチヤ」ヲ加フ

- 可シトスル説又ハ是等ノ語ニ對シテ「ソ」聯領土内ニ於ケル各人種及民族ノ國家」又ハ「農民」ニ對シテ「農村勤勞者」等其他ノ意見アルモ國家ハ社會ノ階級的構成ニヨリテ成立スルモノナルヲ以テ「勞働者及農民」ナル語ヲ以テ正當トスル旨ヲ述ヘタリ
- (ロ) 第十七條ニ於ケル聯邦構成各共和國ガ「聯邦ヨリ自由脫退ノ權利ヲ保有ス」ナル語ノ除去ヲ論ズルノ意見アル處右ハ事實上斯カル例無キハ當然ナランモ理論上聯盟ノ自由性ヲ破壞スルモノナルヲ以テ不可ナル旨ヲ述ベタリ
- (ハ) 憲法第二章ノ補充トシテ自治共和國ノ經濟的、文化的發達ガ適當ナル程度ニ達シタル際ハ共和國トス可シトスル論アルモ文化的、經濟的ノ發達如何ガ共和國又ハ自治共和國ヲ決定スル理由トナラズ周圍ノ國家ノ事情、民族ノ數等ニモ依存スルモノナルヲ以テ右意見モ不可ナル旨ヲ述ベタリ
- (ニ) 第二十二條乃至第二十九條ニ於ケル詳細ナル行政區劃ノ抹殺論アルモ右條項ガ是等行政區劃ノ明瞭ニ安定スベキ時代ノ要求ニ應ズルヲ以テ之ガ抹殺論又不可ナル旨述ベタリ
- (ホ) 第二十三條ニ於ケル二院制度ニ關シ民族會議ヲ廢止シ一院制ヲ主張スル意見アルモ「ソ」聯邦ガ單一民族國家ニ非ザル限リ民族ノ平等及各民族ノ利害關係ヲ尊重スル上カラ斯カル論ニ贊成シ得ザル旨ヲ述ベタリ

成シ得ザル旨ヲ述ベタリ

- (ヘ) 兩院議員數ノ平等ヲ要求スル意見アルモ之ニ對シテハ贊意ヲ表セリ
- (ト) 民族會議代議員ノ選舉方法ヲ聯邦會議ト同様直接選舉ト爲スコシトノ意見ニ對シテハ右ハ幾分技術上ノ不便アルモ政治的ニハ民族會議ノ權威ヲ發揚スルモノニシテ贊成ナル旨ヲ述ベタリ
- (チ) 第四十條ノ補足案トシテ最高會議幹部會ニ臨時法令發布ノ權限ヲ與フ可シトスル意見アルモ右ハ特ニ今日「ソ」聯邦ニ於テ必要トセララル法律ノ安定ノ爲ニ採用スルヲ得ズト述ベタリ
- (リ) 第四十八條ニ關シ聯邦最高會議幹部會議長ヲ全國民ノ選舉ニヨラシム可シトノ意見ナルガ右ニ關シ「スターリン」ハ全國民ニヨリテ選舉セララル最高會議ニ併立シテ一個ノ「プレジデント」ノ選舉セララルガ如キ非團體的ナル機關ノ存在ハ「デモクラシイ」憲法精神ニ反スル所以ヲ述ベタリ
- (ヌ) 右四十八條ニ關シ最高會議議長代理ヲ各聯邦構成共和國ヨリ一名宛選ビ得ル様十一名ニ増員ス可シトノ意見ナルガ右ハ最高會議ノ權威増大ノ爲採擇シ得ル旨述ベタリ
- (ル) 第七十七條ニ關シ新ニ國防工業人民委員部ノ設置論アルモ右ハ國防事業改善ノ爲時代ニ適應スル旨述ベタリ

(ヲ) 第二百二十四條ニ關シ宗教的儀式ノ執行禁止論アルモ右ハ勿論新憲法精神ニ反スト述ベタリ

(フ) 第三百三十五條ニ關シ僧侶、舊白系軍人及其他社會公共ノ爲ニ勞働セザル者ヨリ選舉權ヲ剝奪セヨトノ意見アルモ既ニ今日ノ如ク社會主義確立シ彼等ノ勢力ニ何等ノ危險ナキニ至レル時ニ於テハ斯カル意見ハ無意味ナリトノ反駁ヲ試ミタリ

以上ノ如ク新憲法草案ニ對スル修正補足意見ニ關シテ自己ノ意見ヲ述ベタル後最後ニ新憲法ノ意義ニ關シテ言及シ人類ノ解放ト共產主義運動トノ勝利ナル所以ヲ力説セリ

概シテ「スターリン」ノ本演說ハ多クノ示唆ニ富ミタルト共ニ多クノ「ユーモア」ニモ富ミ是迄ノ演說ニ比較シテ新時代「ソヴェエト」國民生活ヲ反映スル多クノ劃期的意義ヲ有スルモノト思考セララル

第四節 新憲法ノ特徴

「スターリン」憲法ノ特徴ハ(イ)從來ノ憲法ガ世界革命主義ヲ強調スル精神ナルニ對シテ一國內社會主義ヲ表明スルモノナルコト(ロ)從來ノ憲法ガ階級的對立ヲ容認セル國家組織ナルニ對シテ階級的對立無キ國內全「プロレタリアート」ノ國家組織ト爲シタルコト(ハ)從來ノ憲法ガ專制主

義的統治組織ナルニ對シテ民主主義的組織ニ移行セルコトノ三點ニ歸着セシメ得ル基本的原則ヲ採用セルモノト思考セララル

此ノ結果「ソ」聯邦ハ少クトモ形式上ニ於テ階級的對立無キ全國民的民主主義國家トナリタリ尤モ茲ニ云フ階級的對立トハ「マルクシズム」ニ云フ「プロレタリア」及ビ「ブルジョア」ノ對立ヲ意味シ單ナル上下ノ對立ト云フ意味ニ於ケル階級ニ非ズ「マルクシズム」ニ依レバ國家ハ階級ト共ニ發生シ階級ト共ニ消滅ス「マリツキー」教授ハ其著「ソヴェエト」憲法ニ於テ「國家ハ階級ノ非融和性ノ產物ナリ」ト云ヒ「ソヴェエト」法學者ハ一樣ニ「人民ノ爲ノ人民ニ依ル人民ノ政府」ナル國家觀ヲ以テ實ハ其階級性ヲ隱蔽センガ爲ノ「ブルジョア」的「リベラリズム」觀ナリトシテ之ヲ嘲笑シ來レルガ今茲ニ「ソヴェエト」的全國民國家ノ出現ヲ見ルニ至レリ

此ノ點ヲ解釋センガ爲ニ「ステツキー」ハ其ノ「階級ノ清算」ナル論文ニ於テ「ソ」聯邦ニ於テハ階級的對立ハ消滅セルモ未ダ階級闘争繼續ス故ニ階級闘争ノ完成セララルマデハ國家ノ存續ヲ必要トスル」旨ヲ述ベタリ

「バシユカーニス」教授モ同様ノ見解ヲ述ベ「ソ」聯邦ニ於テハ國內ニ未ダ舊「ブルジョア」ノ殘骸アリ且非社會主義的ノ私經濟部門モ存在ス更ニマタ國外ニ資本主義國家アリテ「ソ」聯邦ヲ包圍ス故

ニ「ソ」聯邦ニ於テハ階級的對立消滅セルモ尙階級ノ敵存在シ階級闘争繼續セラル」旨強調セリ
 此ノ點ニ關シ「ユーヂン」ハ聊カ異ナル見解ヲ其著「社會主義制度下ノ國家」ナル論文ニ發表セルガ
 「ユーヂン」ハ「社會主義的全國民國家ノ最重要ナル存在理由ハ主トシテ社會主義體制下ニ於ケ
 ル生産及再生産ノ方法ト消費ノ方法トヲ算定シ管理スル役割ニ存ス」聯邦ハ生レ出タルバカリ
 ノ國家ナルヲ以テ全國民ノ社會主義的訓練不十分ナル上外部ヨリ妨害ノ危險アルヲ以テ社會主義
 的制度ノ擁護ノ爲ニ重要ナル役割ヲ演ズ」ト述ベタリ
 新憲法ノ中最モ著シキ特徴トシテ「ソヴィエト」當局ハ素ヨリ諸外國ニ於テモ特ニ注目ノ集中セラ
 レタル點ハ從來ノ「プロレタリア・デイクター・ター・シップ」ニ對スル「プロレタリア・デモクラシイ」
 ナリ此ノ點ニ關シテハ諸外國ニ於テモ「ソ」聯邦ニ於テモ基本的ナル二個ノ對立セル見解アリ
 「ソ」聯邦ニ同情ヲ寄セザル批判トシテ諸外國ニ於テハ「プロレタリア・デモクラシイ」ハ眞ノ「デ
 モクラシイ」ニ非ズ「ソ」聯邦内ニ於テハ依然トシテ專制政治繼續セラレ個人ノ自由ト權利トハ解放
 セラルルコト無シ」ト否定的見解ヲ有スル論ト反對ニ「ソ」聯邦モ遂ニ議會制度ノ立憲國ト接近
 セザルヲ得ザルニ至レリ是即チ從來ノ專制政治ガ遂ニ人民ニ對シテ維持セラレザルニ至リタル結
 果彼等ガ從來非謗セル自由主義ニ讓歩セルモノナリ」ト肯定的見解ヲ有スル論トノ基本的ナル二

個ノ對立セル論アリ

「ソ」聯邦内部ニ於テモ單ニ右ノ反「ソ」的立場ト正反對ナル相違ノミニテ同様ノ基本的ナル論對立
 ス一ハ「今般ノ「デモクラシイ」ナルモノハ是迄ノ「プロレタリア」獨裁政治ノ延長ニシテ「プロレ
 タリア」獨裁ト「プロレタリア」民主主義トハ盾ノ兩面ナリ」トスル論ニシテ他ハ「ソ」聯邦ハ從來
 ノ專制形態ヨリ民主主義形態ヘ飛躍發展セリ」トスル論ナリ

之ヲ要スルニ「デモクラシイ」ナル概念ヲ十八世紀以來ノ自由主義ト不可分ノ關係ニ於テ求メン
 トスルナラバ「ソ」聯邦ニ於ケル「デモクラシイ」ハ「マルクス」「レーニン」乃至「スターリン」
 主義ト不可分ノ關係ニ於テ求メラルルモノニシテ本質的ニ何等カノ相異アル可ク「プロレタリア
 デモクラシイ」ナル語ノ所以モ此處ニ存ス

一般ニ「デモクラシイ」ナル語ハ近代國家ニ於テハ三權ノ分立ニ依ル政治ノ運用及調整並ニ議會
 制度ニ依ツテ爲サルル代議政治ヲ意味ス「マルクス」の見解ニ依レバ三權ノ分立ハ之ヲ發祥的ニ
 見テ貴族階級ト新興「ブルジョア」トノ勢力ノ緩衝組織ナリ而シテ勝利ヲ得タル「ブルジョア」ガ公
 然ト獨裁ヲ實現シ得サルガ故ニ三權分立ノ假面ノ下ニ其ノ實權ヲ掌握スル手段トシテ發達助長セ
 ルモノナリ故ニ若干ノ「ソヴィエト」法學者ハ「プロレタリア」獨裁政治下ニ於テハ三權分立ノ要

全ク無ク寧ロ合一スベキモノト考ヘタリ
 今般ノ新憲法ニ於テモ第三條ニ於テ原則トシテ三權ノ合一ヲ明ニシ居ルモ技術的ニハ聯邦最高會議ヲ唯一ノ立法機關トシ其ノ下ニ行政機關タル人民委員會ヲ置キ更ニ司法機關トシテ獨立ニ最高裁判所ヲ設ケタリ此ノ點曩ノ「レーニン」憲法ガ技術的ノ三權分立ノ可能性ヲモ明瞭ニセザリシニ比シテ大ナル特徴ト爲スヲ得可シ
 最高會議ハ聯邦會議ト民族會議トノ二者ヨリ成リ聯邦會議ハ聯邦人民トシテノ意思ヲ又民族會議ハ各民族トシテノ意思ヲ代表シ兩者ノ權限ハ全ク平等ナリ此ノ二院制度ハ聯邦人民ヲ多數包含スル民族ノ特權的地位ヲ亂用セシメザル様少數民族保護ノ爲ニ設ケラレタルモノニシテ「マルクシズム」ノ民族政策實現ノ目的ヲ有シ隨ツテ一般諸國ニ於ケル兩院制トハ其本質ヲ異ニス
 右ハ一民族ニ依リテ構成セラレタル共和國ニハ一院制ヲ認メタル點ヨリ見ルモ明ナリ
 斯ノ如ク「ソヴィエト」的「デモクラシー」ハ從來ノ「デモクラシー」ト形式的ニハ近似シ而モ本質的ニハ全ク趣ヲ異ニスルモノナリ

第五節 「ソ」聯邦新憲法(全譯)

「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦臨時第八回「ソヴィエト」大會決定

「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦憲法(根本法)ノ確認ニ關スル件

「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦臨時第八回「ソヴィエト」大會ハ左記ヲ決定ス

大會ノ編纂委員會ニヨリテ提出セラレタル編纂ニ基ク「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦憲法(根本法)ヲ確認ス

大 會 幹 部 會

「モスクワ」、「クレムリ」 一九三六年十二月五日

「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦憲法

第一章 社會機構

第一條 「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦(譯者註、以下「ソ」聯邦ト略ス)ハ勞働者及農民ノ社會主義國家ナリ

第二條 「ソ」聯邦ノ政治的基礎ハ地主及資本家權力ノ顛覆及「プロレタリアート」獨裁征得ノ結果成長鞏化セル勤勞者代議員「ソヴィエト」之ヲ構成ス

第三條 「ソ」聯邦ノ全權力ハ勤勞者代議員「ソヴィエト」ニヨリテ代表セラルル都市及農村ノ勤勞

者ニ屬ス

第四條 「ソ」聯邦ノ經濟的基礎ハ資本主義經濟制度ノ清算、生産要具及手段ノ私有廢止竝ニ人間ニヨル人間ノ搾取廢絶ノ結果確立セル社會主義經濟制度竝ニ生産要具及手段ノ社會主義的所有之ヲ構成ス

第五條 「ソ」聯邦ノ社會主義的所有ハ國家的所有ノ形態（全人民ノ財產）ナルカ又ハ協同組合「コルホーズ」的所有ノ形態（個々ノ「コルホーズ」財產—協同組合財產）ナリ

第六條 土地、其ノ埋藏物、水域、森林、工場、製造所、鑛坑、鑛山、鐵道、水運、空輸、銀行通信手段、國營大農業企業（國營農場、機械「トラクター」配給所等）竝ニ都市及工業中心地ニ於ケル公共經濟企業及基本的住宅資原ハ凡ベテ國家ノ所有即全人民ノ財產トス

第七條 「コルホーズ」及協同組合ニ於ケル公共企業及之ニ附屬スル家畜及要具竝ニ「コルホーズ」及協同組合ノ生産物竝ニ其等ノ公共建造物ハ「コルホーズ」及協同組合ノ公共社會主義財產トス

「コルホーズ」ニ於ケル各農戶ハ農業「アルテリ」定款ニ從ヒ公共「コルホーズ」經濟ヨリノ基本的收入ノ外若干ノ屋敷附屬地ヲ個人使用ニ供シ且附屬地ニ於ケル副業、住宅、生産の家畜、

家禽、小農具ヲ個人財產ト爲ス事ヲ得

第八條 「コルホーズ」ノ占ムル土地ハ無償且無期限ノ使用ノ爲即永久ニ「コルホーズ」ニ定着スルモノトス

第九條 「ソ」聯邦ニ於ケル支配的經濟形態タル社會主義經濟制度ト並行シテ個人勞動ヲ基礎トシ他人ノ勞動ノ搾取ヲ除外スル個人農及手工業者ノ小規模私的經濟ハ之ヲ法律ニヨリ許可ス

第十條 人民ノ勞動所得及貯蓄、家屋、家庭副業、家財及世帶道具竝ニ個人的消費物及便益物件ニ對スル人民ノ個人的所有權、竝ニ國民ノ個人的所有ノ相續權ハ法律ニヨリ保護セラル

第十一條 「ソ」聯邦ノ經濟生活ハ公共的富ノ増大、勤勞者ノ物質的及文化的水準ノ不撓ノ向上及「ソ」聯邦ノ獨立ノ鞏化竝ニ國防能力ノ強化ヲ目的トスル國家國民經濟ニヨリ決定且指導セラル

第十二條 「ソ」聯邦ニ於ケル勞動ハ「働カザル者ハ食フ可カラズ」ノ原則ニ從ヒ勞動能力アル各人民ノ義務ニシテ且名譽ナリ

「ソ」聯邦ニ於テハ「各人ヨリ其ノ能力ニ應シテ—各人ニ其ノ勞動ニ應ジテ—」ナル社會主義ノ原則ヲ實現ス

第十三條 「ソ」聯邦ハ均等ノ權利ヲ享有スル左記「ソヴィエト」社會主義共和國ノ自由意思の結合ニ基キ成立セル聯合國家ナリ

- 「ロシア・ソヴィエト」社會主義聯邦共和國
- 「ウクライナ・ソヴィエト」社會主義共和國
- 白「ロシア・ソヴィエト」社會主義共和國
- 「アゼルバイジャン・ソヴィエト」社會主義共和國
- 「ジョージア・ソヴィエト」社會主義共和國
- 「アルメニア・ソヴィエト」社會主義共和國
- 「トルクメン・ソヴィエト」社會主義共和國
- 「ウズベク・ソヴィエト」社會主義共和國
- 「ダヂク・ソヴィエト」社會主義共和國
- 「カザク・ソヴィエト」社會主義共和國
- 「キルギス・ソヴィエト」社會主義共和國

第十四條 權力ノ最高機關及國家統治機關ニヨリテ代表セラルル「ソ」聯邦ノ管掌ニ屬スル事項ハ

左ノ如シ

- (イ) 國際關係ニ於ケル聯邦ノ代表、他國トノ條約締結及批准
- (ロ) 戰爭及平和ノ問題
- (ハ) 新共和國ノ「ソ」聯邦加入
- (ニ) 「ソ」聯邦憲法實行ノ監督竝聯邦構成各共和國憲法ト聯邦憲法ノ適合ノ確保
- (ホ) 聯邦構成共和國間ノ境界變更ノ確認
- (ヘ) 聯邦構成共和國ノ構成中ニ新地方及州、竝ニ新自治共和國組成ノ確認
- (ト) 「ソ」聯邦國防ノ組織及聯邦全武裝力ノ統轄
- (チ) 國家獨占ヲ基礎トスル外國貿易
- (リ) 國家安寧ノ保持
- (ヌ) 「ソ」聯邦國民經濟計畫ノ設定
- (ル) 「ソ」聯邦統合國家豫算竝ニ聯邦豫算、共和國豫算及地方豫算ノ編成ニ充當セラルルタメ租稅及收入ノ確認
- (ヲ) 聯邦的意義ヲ有スル銀行、農工業機關及企業竝ニ商業企業ノ管理

- (ワ) 交通及通信ノ管理
- (カ) 通貨及信用制度ノ統轄
- (ヨ) 國營保險ノ組織
- (タ) 公債ノ取極及供與
- (レ) 土地ノ使用並ニ埋藏物、森林及水域ノ使用ニ付基本原則ノ設定
- (ツ) 教育及保健ノ分野ニ於ケル基本原則ノ設定
- (ヅ) 統合國民經濟統計制度ノ組織
- (ネ) 勞働立法ノ要綱設定
- (ナ) 裁判所構成及訴訟手續ニ關スル立法、刑法典及民法典、
- (ラ) 聯邦國籍ニ關スル法律、外國人ノ權利ニ關スル法律
- (ム) 全聯邦的恩赦令ノ公布

第十五條 聯邦構成共和國ノ主權ハ「ソ」聯邦憲法第十四條ニ規定セラレタル範圍ニ於テノミ制限セラル右範圍外ニ於テハ聯邦構成各共和國ハ國家權力ヲ自主的ニ行使ス
 「ソ」聯邦ハ聯邦構成共和國ノ主權ヲ保護ス

第十六條 聯邦構成各共和國ハ其ノ特殊事情ヲ考慮シ且「ソ」聯邦憲法ト完全ニ適合シテ編纂セラレタル各自ノ憲法ヲ有ス

第十七條 聯邦構成各共和國ニ對シテハ「ソ」聯邦ヨリ自由脫退ノ權利ヲ保留セラル

第十八條 聯邦構成共和國ノ領域ハ其ノ同意無クシテ之ヲ變更スルヲ得ス

第十九條 「ソ」聯邦ノ法律ハ凡ベテノ聯邦構成共和國ノ領域ニ於テ同等ノ效力ヲ有ス

第二十條 聯邦構成共和國ノ法律全聯邦ノ法律ト背反スル時ハ全聯邦ノ法律效力ヲ有ス

第二十一條 「ソ」聯邦人民ニ對シテハ統合聯邦國籍設定セラレ聯邦構成共和國ノ各人民ハ「ソ」聯邦ノ人民ナリ

第二十二條 「ロシヤ・ソヴェト」聯邦共和國ハ左ヨリ成ル

- 地方「アゾフ」、黒海、極東、西「シベリア」、クラスノヤールスク、北「コーカサス」
- 州「ウオローネジ」、東部「シベリア」、「ゴーリキー」、「ザーバド」、「イワーノフ」、「カリーニン」、
- 「キーロフ」、「クイブイシエフ」、「クルスク」、
- 「レーニングラード」、
- 「モスコ」、
- 「オムスク」、
- 「オレンブルグ」、
- 「サラトフ」、
- 「スウエルドロフスク」、
- 「セーウエル」、
- 「スターリングラード」、
- 「チェリヤビンスク」、
- 「ヤロスラーフ」

自治「ソヴィエト」社會主義共和國「タタール」、「バシキール」、「ダゲスタン」、「ブリヤート・モンゴール」、「カバルディーノ・バイカール」、「カルムイク」、「カレーリヤ」、「コミ」、「クリミヤ」、「マリイ」、「モルドワ」、沿「ヴォルガ」獨逸人、北「オセチン」、「ウドムルド」、「チエチエーノ・イングーシ」、「チュワーシ」、「ヤクート」

自治州「アデイゲ」猶太人（譯者註「ビロビヂヤン」）「カラチャールエフ」、「オイロート」、「ハカツス」、「チエルケース」

第二十三條 「ウクライナ・ソヴィエト」社會主義共和國ハ「ウインニツア」、「ドネプロベトロフスク」、「ドン」、「キエフ」、「オデツサ」、「ハリコフ」、「チエルニコフ」ノ州及「モルドワ」自治「ソヴィエト」社會主義共和國ヨリ成ル

第二十四條 「アゼルバイヂヤン・ソヴィエト」社會主義共和國ハ「ナヒチエワン」自治「ソヴィエト」社會主義共和國及「ナゴルノ・カラバツク」自治州ヨリ成ル

第二十五條 「ジョージア・ソヴィエト」社會主義共和國ハ「アブハズ」、「アヂヤルノ」自治「ソヴィエト」社會主義共和國、南「オセチン」自治州ヨリ成ル

第二十六條 「ウズベク・ソヴィエト」社會主義共和國ハ「カラ・カルバツク」、自治「ソヴィエト」

社會主義共和國ヲ包含ス

第二十七條 「タジク・ソヴィエト」社會主義共和國ハ「ゴルノ・バダフシヤン」自治州ヲ包含ス

第二十八條 「カザク・ソヴィエト」社會主義共和國ハ、「アクチュビン」、「アルマ・アタ」、東「カザクスタン」、西「カザクスタン」、「カラガンダ」、「クスタナイ」、北「カザクスタン」、南「カザクスタン」ノ州ヨリ成ル

第二十九條 「アルメニア・ソヴィエト」社會主義共和國、白「ロシア・ソヴィエト」社會主義共和國、「トルクメン・ソヴィエト」社會主義共和國及「キルギス・ソヴィエト」社會主義共和國ハ自治共和國並ニ地方及州ヲ其構成中ニ含まズ

第三章 「ソ」聯邦ノ國家權力最高機關

第三十條 「ソ」聯邦國家權力ノ最高機關ハ「ソ」聯邦最高會議（「ソヴィエト」）ナリ

第三十一條 「ソ」聯邦最高會議ハ憲法第十四條ニヨリ「ソ」聯邦ニ專屬スル一切ノ權限ヲ行使ス但シ憲法ニ基キ「ソ」聯邦最高會議ノ管下ニ在ル聯邦諸機關即「ソ」聯邦最最高會議幹部會、

「ソ」聯邦人民委員會、「ソ」聯邦人民委員部ノ權限ニ屬セザルモノニ限ル

第三十二條 「ソ」聯邦ノ立法權ハ専ラ「ソ」聯邦最高會議之ヲ行使ス

第三十三條 「ソ」聯邦最高會議ハ聯邦會議及民族會議ノ兩院ヨリ成ル

第三十四條 聯邦會議ハ人口三十萬ニ付代議員一人ノ基準ニヨリ選舉區毎ニ「ソ」聯邦人民之ヲ選舉ス

第三十五條 民族會議ハ左ノ基準ニヨリ聯邦構成共和國、自治共和國、自治州及民族管區毎ニ「ソ」聯邦人民之ヲ選舉ス即チ各聯邦構成共和國ヨリハ二十五名、各自治共和國ヨリハ十一名、各自治州ヨリハ五名、各民族管區ヨリハ一名トス

第三十六條 「ソ」聯邦最高會議ハ四年ノ期間ヲ以テ選舉セララル

第三十七條 聯邦最高會議兩院即聯邦會議及民族會議ノ權限ハ平等ナリ

第三十八條 聯邦會議及民族會議ハ平等ニ立法發案權ヲ有ス

第三十九條 法律ハ「ソ」聯邦最高會議兩院ニ於テ夫々單純多數決ニヨリ採擇セラレタル時確認セラレタルモノトス

第四十條 「ソ」聯邦最高會議ニヨリ採擇セラレタル法律ハ「ソ」聯邦最高會議幹部會議長及書記ノ署名ヲ以テ聯邦構成共和國ノ各國語ニテ公布セララル

第四十一條 聯邦會議及民族會議ノ會期ハ同時ニ開會及閉會セララル

第四十二條 聯邦會議ハ聯邦會議長及其ノ代理二名ヲ選舉ス

第四十三條 民族會議ハ民族會議議長及其ノ代理二名ヲ選舉ス

第四十四條 聯邦會議及民族會議議長ハ當該院ノ議事ヲ指導シ院內秩序ヲ管理ス

第四十五條 「ソ」聯邦最高會議兩院合同會議ハ聯邦會議議長及民族會議議長交互ニ之ヲ司會ス

第四十六條 「ソ」聯邦最高會議ノ會期ハ「ソ」聯邦最高會議幹部會ニヨリ年二回召集セララル

臨時會議ハ「ソ」聯邦最高會議幹部會ノ裁量若クハ聯邦構成共和國中一國ノ要求ニヨリ召集セララル

第四十七條 聯邦會議及民族會議間ニ於ケル見解相違ノ時ハ平等ノ原則ニ基キ構成セラレタル協議委員會ノ裁決ニ付セララル協議委員會ガ一致セル決定ニ到達セサルカ若クハ其ノ決定ガ兩院ノ何レカ一方ヲ満足セシメサル時問題ヲ再ヒ兩院ニ於テ審議ス

兩院ノ一致セル決定無キ時「ソ」聯邦最高會議幹部會ハ最高會議ヲ解散シ新選舉ヲ指定ス

第四十八條 「ソ」聯邦最高會議ハ兩院合同會議ニ於テ「ソ」聯邦最高會議幹部會ヲ選舉シ其ノ成員ハ議長一名其代理十一名、幹部會書記一名及幹部會員二十四名トス「ソ」聯邦最高會議幹部會ハ凡テノ自己ノ行動ニ付聯邦最高會議ニ對シ責ニ任ズ

第四十九條 「ソ」聯邦最高會議幹部會ハ

- (イ) 「ソ」聯邦最高會議ヲ召集ス
- (ロ) 「ソ」聯邦現行法律ノ解釋ヲ與ヘ、幹部會令ヲ發ス
- (ハ) 「ソ」聯邦憲法第四十七條ニ基キ「ソ」聯邦最高會議ヲ解散シ且新選舉ヲ指定ス
- (ニ) 自己ノ發意又ハ聯邦構成共和國中一國ノ要求ニヨリ人民投票ヲ行フ
- (ホ) 「ソ」聯邦人民委員會及各共和國人民委員會ノ決定及命令ニシテ法律ニ合致セザル時ハ之ヲ廢止ス

(ヘ) 「ソ」聯邦最高會議ノ會期ヨリ會期ニ至ル期間「ソ」聯邦人民會議々長ノ提意ニヨリ個々ノ「ソ」聯邦人民委員ヲ任免ス但シ右ニ付テハ「ソ」聯邦最高會議ノ事後確認ヲ得可キモノトス

(ト) 「ソ」聯邦勳章ヲ授與シ名譽稱號ヲ授ク

(チ) 恩赦ノ權ヲ行使ス

(リ) 「ソ」聯邦武裝力ノ最高司令官ヲ任命シ交迭ス

(ヌ) 「ソ」聯邦最高會議ノ會期ヨリ會期ニ至ル期間「ソ」聯邦ニ對スル軍事攻撃ノ場合若ハ侵略

國ニ對スル共同防衛ノ國際條約上ノ義務履行ノ必要アル場合戰爭狀態ヲ宣布ス

(ル) 總體的若クハ部分的動員ヲ宣布ス

(ヲ) 國際條約ヲ批准ス

(ワ) 外國ニ於ケル「ソ」聯邦全權代表ヲ任命シ召還ス

(カ) 幹部會ノ下ニ駐劄スル外交代表者ノ信任狀及ビ解任狀ヲ受理ス

第五十條 聯邦會議及民族會議ハ各院代議員ノ權限ヲ審査スル資格審査委員會ヲ選舉ス

資格審査委員會ノ提意ニ依リ兩院ハ個々代議員ノ權限ヲ承認スヘキヤ若クハ選舉ヲ無効トスヘキヤヲ決定ス

第五十一條 「ソ」聯邦最高會議ハ必要ト認メタル時アラユル問題ニ付査問委員會及検査委員會ヲ任命ス

總テノ機關及職員ハ之等委員會ノ要求ヲ滿シ且必要ナル資料及書類ヲ提供スル義務ヲ負フ

第五十二條 「ソ」聯邦最高會議代議員ハ「ソ」聯邦最高會議ノ同意無クシテ又「ソ」聯邦最高會議閉會中ハ「ソ」聯邦最高會議幹部會ノ同意無クシテ裁判所ノ責任ニ問ハレ若クハ逮捕セララルコト無シ

第五十三條 「ソ」聯邦最高會議ノ任期滿了スルカ若クハ滿了前解散セララル時ハ「ソ」聯邦最高會議幹部會ハ新タニ選舉セラレタル「ソ」聯邦最高會議ニヨリテ新「ソ」聯邦最高會議幹部會ノ組成セララル迄其ノ權限ヲ保持ス

第五十四條 「ソ」聯邦最高會議ノ任期滿了スルカ若クハ滿了前解散セラレタル時ハ「ソ」聯邦最高會議幹部會ハ「ソ」聯邦最高會議ノ任期滿了若クハ解散ノ日ヨリ二ヶ月ヲ超エサル期間内ニ新選舉ヲ指定ス

第五十五條 新ニ選出セラレタル「ソ」聯邦最高會議ハ選舉後一ヶ月ヲ超エサル期間内ニ前組成ノ「ソ」聯邦最高會議幹部會ニヨリテ召集セララル

第五十六條 「ソ」聯邦最高會議ハ兩院合同會議ニ於テ「ソ」聯邦政府即「ソ」聯邦人民委員會ヲ組織ス

第四章 聯邦構成共和國ノ國家權力最高機關

第五十七條 聯邦構成共和國ノ最高機關ハ聯邦構成共和國最高會議ナリ

第五十八條 聯邦構成共和國最高會議ハ四年ノ期間ヲ以テ共和國人民ニヨリテ選舉セララル代表基準ハ構成共和國憲法ニヨリテ設定セララル

第五十九條 聯邦構成共和國最高會議ハ共和國唯一ノ立法機關ナリ

第六十條 聯邦構成共和國ノ最高會議ハ

- (イ) 聯邦憲法第十六條ニ適合シテ共和國憲法ヲ採擇シ又之ニ變更ヲ加フ
- (ロ) 共和國ヲ構成スル自治共和國憲法ヲ確認シ其ノ領域ノ境界ヲ決定ス
- (ハ) 共和國ノ國民經濟計畫及豫算ヲ確認ス
- (ニ) 聯邦構成共和國司法機關ニヨリ宣告ヲ受ケタル人民ニ對スル恩赦ノ權ヲ有ス

第六十一條 聯邦構成共和國最高會議ハ構成共和國最高會議幹部會ヲ選舉ス其成員ハ議長、其ノ代理(複數)、幹部會書記及幹部會員(複數)ヨリ成ル

聯邦構成共和國最高會議幹部會ノ權限ハ聯邦構成共和國憲法ニヨリ決定セララル

第六十二條 聯邦構成共和國最高會議ハ司會ノ爲議長及其代理(複數)ヲ選舉ス

第六十三條 聯邦構成共和國最高會議ハ構成共和國政府即人民委員會ヲ組織ス

第五章 「ソ」聯邦國家行政機關

第六十四條 「ソ」聯邦國家權力ノ最高執行及處分機關ハ「ソ」聯邦人民委員會ナリ

第六十五條 「ソ」聯邦人民委員會ハ「ソ」聯邦最高會議ニ對シ責ニ任ジ且報告ノ義務ヲ負フ而シ

テ最高會議ノ會期ヨリ會期ニ至ル期間ハ「ソ」聯邦最高會議部會ニ對シ責ニ任シ、報告ノ義務ヲ有ス

第六十六條 「ソ」聯邦人民委員會ハ現行諸法規ニ準據シ且之ヲ執行スル爲決定及命令ヲ發シ又其ノ執行ヲ檢査ス

第六十七條 「ソ」聯邦人民委員會ノ決定及命令ハ「ソ」聯邦ノ全領域ニ互リ執行セラルヘキモノトス

第六十八條 「ソ」聯邦人民委員會ハ

(イ) 「ソ」聯邦單一及複合人民委員部並ニ自己ノ管轄下ニアル其ノ他經濟及文化諸機關ノ事務ヲ

統一指導ス

(ロ) 國民經濟計畫、國家豫算ノ實現及信用通貨制度ノ鞏化ニ關スル措置ヲ講ス

(ハ) 公共秩序ノ保障國家ノ利益ノ擁護及人民ノ權利ノ保護ニ關スル措置ヲ講ス

(ニ) 外國トノ交通ニ關シ一般の指導權ヲ行使ス

(ホ) 毎年現役兵トシテ召集セラルヘキ人民ノ人員ヲ法定シ國家武裝力ノ一般の建設ヲ指導ス

(ヘ) 必要ノ場合經濟、文化及國防建設事務ニ關シ「ソ」聯邦人民委員會ニ附屬ノ特別委員會

又ハ主務局ヲ組織ス

第六十九條 「ソ」聯邦人民委員會ハ「ソ」聯邦ノ權限ニ屬スル行政經濟部門ニ關シ聯邦構成共和國人民委員會ノ決定及命令ヲ停止シ又「ソ」聯邦各人民委員ノ訓令及指令ヲ取消ス權限ヲ有ス

第七十條 「ソ」聯邦人民委員會ハ「ソ」聯邦最高會議ニ依リ左記成員ヲ以テ構成セラル

「ソ」聯邦人民委員會議々長

同 議長代理(複數)

「ソ」聯邦國家計畫委員會議長

「ソ」ヴェト」統制委員會議長

各人民委員

買付委員會議長

藝術委員會議長

高等教育事務委員會議長

第七十一條 「ソ」聯邦政府又ハ聯邦各人民委員ハ「ソ」聯邦最高會議代議員ヨリ質問ヲ受ケタル

場合三日ヲ超エザル期間内ニ當該院ニ於テ口頭若クハ文書ニヨル回答ヲ與フ可キ義務ヲ有ス

第七十二條 「ソ」聯邦各人民委員ハ聯邦ノ權限内ノ國家行政部門ヲ統轄ス

第七十三條 「ソ」聯邦人民委員ハ當該人民委員部ノ權限内ニ於テ現行法律及「ソ」聯邦人民委員會議ノ決定及命令ニ遵據シ且之ヲ執行スル爲訓令及指令ヲ公布シ且其ノ實行ヲ検査ス

第七十四條 「ソ」聯邦人民委員部ニハ單一人民委員部ト複合人民委員部トアリ

第七十五條 單一人民委員部ハ其ノ委任セラレタル國家行政部門ヲ全領域ニ亘リ直接ニ又ハ其ノ任命セル機關ヲ通シテ統轄ス

第七十六條 複合人民委員部ハ其ノ委任セラレタル國家行政部門ヲ、原則トシテ構成共和國ノ同名人民委員部ヲ通シテ統轄シ、且ツ「ソ」聯邦最高會議幹部會ニヨリテ確認セラルル表ニヨリ一定限定數ノ企業ノミヲ直接ニ管理ス

第七十七條 單一人民委員部ニ屬スルモノハ左ノ如シ

- 國 防
- 外 務
- 外 國 貿 易

交 通

水 運

通 信

重 工 業

國 防 工 業

第七十八條 複合人民委員部ニ屬スルモノハ左ノ如シ

食 料 工 業

輕 工 業

林 業

農 業

國 營 農 場

財 務

國 內 商 業

內 務

司 法
保 健

第六章 聯邦構成共和國ノ國家行政機關

第七十九條 聯邦構成共和國國家權力ノ最高執行及處分機關ハ聯邦構成共和國人民委員會會議ナ
リ

第八十條 構成共和國人民委員會會議ハ構成共和國最高會議ニ對シ責ニ任ジ且報告ノ義務ヲ負フ
而シテ聯邦構成共和國最高會議ノ會期ヨリ會期ニ至ル期間ハ「ソ」聯邦構成共和國最高會議幹
部會ニ對シ責ニ任シ、報告ノ義務ヲ負フ

第八十一條 構成共和國人民委員會會議ハ「ソ」聯邦及構成共和國ノ現行法規及「ソ」聯邦人民委
員會議ノ決定及命令ニ準據シ且之ヲ執行スル爲決定及命令ヲ發シ又其ノ執行ヲ檢査ス

第八十二條 構成共和國人民委員會會議ハ自治共和國人民委員會會議ノ決定及命令ヲ停止シ又地方、
州及自治州ノ勤勞者代議員「ソヴェト」ノ執行委員會ノ議決及命令ヲ取消ス權限ヲ有ス

第八十三條 聯邦構成共和國人民委員會會議ハ左ノ成員ヲ以テ共和國最高會議ニヨリ組織セラル
議 長

同議長代理(複數)

國家計畫委員會議長

左ノ人民委員

食 料 工 業
輕 工 業
林 業
農 務
國 營 農 場
財 政 務
國 內 商 業
內 務
司 法
保 健
教 育

地方工業
公共經濟
社會保險

買付委員會代表

藝術事務局長

單一人民委員部代表

第八十四條 構成共和國人民委員ハ構成共和國ノ權限ニ屬スル國家行政各部門ヲ統轄ス

第八十五條 構成共和國人民委員ハ當該人民委員部ノ權限内ニ於テ聯邦及構成共和國ノ法律、聯邦及共和國ノ人民委員會議ノ決定及命令並ニ聯邦單一人民委員部ノ訓令及指令ニ準據シ且之ヲ執行スル爲訓令及指令ヲ發ス

第八十六條 聯邦構成共和國人民委員部ハ複合人民委員部ナルカ共和國的人民委員部ナリ

第八十七條 複合人民委員部ハ聯邦構成共和國人民委員會議並ニ聯邦當該複合人民委員部ニ從屬シ其ノ委任セラレタル國家行政部門ヲ統轄ス

第八十八條 共和國人民委員ハ共和國人民委員會議ニ直屬シ其ノ委任セラレタル國家行政部門ヲ

統轄ス

第七章 自治「ソヴェト」社會主義共和國國家權力ノ最高機關

第八十九條 自治共和國國家權力ノ最高機關ハ自治共和國最高會議ナリ

第九十條 自治共和國最高會議ハ自治共和國憲法ニヨリ定メラレタル代表ノ基準ニヨリ四年ノ期間ヲ以テ共和國人民之ヲ選舉ス

第九十一條 自治共和國最高會議ハ自治共和國唯一ノ立法機關ナリ

第九十二條 各自治共和國ハ自治共和國ノ特殊性ヲ考慮シ聯邦構成共和國憲法ニ完全ニ適合シテ制定セラレタル自己ノ憲法ヲ有ス

第九十三條 自治共和國最高會議ハ憲法ニ從ヒ自治共和國最高會議幹部會ヲ選舉シ又自治共和國人民委員會議ヲ組織ス

第八章 國家權力ノ地方機關

第九十四條 地方、州、自治州、管區、區、市及村（「スタニーツア」、「デレーヴニヤ」、「フリートル」、「キシユラーク」、「アウール」）ニ於ケル國家權力機關ハ勤勞者代議員「ソヴェト」ナリ

第九十五條 地方、州、自治州、管區、區、市及村（「スタニーツア」、「デレーヴニヤ」、「フリー

トル、「キシユラク」、「アウル」ノ勤勞者代議員「ソヴェト」ハ二年ノ期間ヲ以テ當該地方、州、自治州、管區、區、市及村ノ勤勞者ニヨリ夫々選舉セラル

第九十六條 勤勞者代議員「ソヴェト」ノ代表基準ハ構成共和國憲法ニヨリテ決定セラル

第九十七條 勤勞者代議員「ソヴェト」ハ之ニ所屬スル行政機關ノ活動ヲ統轄シ、國家的秩序ノ保持、法律ノ遵守、人民ノ權利ノ擁護ヲ保障シ地方經濟及文化建設ヲ統轄シ、地方豫算ヲ制定ス

第九十八條 勤勞者代議員「ソヴェト」ハ聯邦共和國ノ法律ニヨリ與ヘラレタル權限内ニテ議決ヲ爲シ命令ヲ發ス

第九十九條 地方、州、自治州、管區、區及市ノ勤勞者代議員「ソヴェト」ノ執行及處分機關ハ之等ニ依リテ選出セラレタル執行委員ニシテ其ノ成員ハ議長、同代理（複數）書記及委員（複數）ナリ

第一百條 大ナラザル住民地ニ於ケル村勤勞者代議員「ソヴェト」ノ執行及處分機關ハ構成共和國憲法ニ準據シ議長、其ノ代理（複數）及書記ナリ

第一百一條 勤勞者代議員「ソヴェト」ノ執行機關ハ之ヲ選舉セル勤勞者代議員「ソヴェト」ニ

對シ竝ニ上級勤勞者代議員「ソヴェト」ノ執行機關ニ對シ直接責ニ任ス

第九章 裁判所及檢事局

第一百二條 「ソ」聯邦ニ於ケル裁判ハ「ソ」聯邦最高裁判所、構成共和國最高裁判所、地方、州裁判所、自治共和國、自治州裁判所、管區裁判所、人民裁判所、「ソ」聯邦最高裁判所ノ決定ニ從ヒ構成セラルル「ソ」聯邦特別裁判所之ヲ行使ス

第一百三條 一切ノ裁判所ニ於ケル事件ノ審理ハ特ニ法律ノ規定スル場合ヲ除キ人民陪審員ノ參加ニヨリテ行ハル

第一百四條 聯邦最高裁判所ハ最高ノ裁判機關ナリ「ソ」聯邦及構成共和國ニ於ケル一切ノ裁判機關ノ裁判活動ニ對スル監督ノ任ハ聯邦最高裁判所ニ之ヲ課ス

第一百五條 聯邦最高裁判所及聯邦特別裁判所ハ五年ノ期間ヲ以テ聯邦最高會議之ヲ選舉ス

第一百六條 構成共和國最高裁判ハ五年ノ期間ヲ以テ共和國最高會議之ヲ選舉ス

第一百七條 自治共和國最高裁判所ハ五年ノ期間ヲ以テ自治共和國最高會議之ヲ選舉ス

第一百八條 地方及州裁判所、自治州裁判所、管區裁判所ハ五年ノ期間ヲ以テ地方、州若クハ勤勞者代議員「ソヴェト」又ハ自治州勤勞者代議員「ソヴェト」之ヲ選舉ス

第九條 人民裁判所ハ區ノ人民之ヲ祕密投票ニ依ル普通直接平等選舉制ニ基キ三年ノ期間ヲ以テ選舉ス

第十條 訴訟手續ハ聯邦構成若クハ自治共和國又ハ自治州ノ國語ヲ以テ行ハレ之等ノ用語ヲ理解セサル者ノ爲ニハ通事ヲ經テ事件ノ資料ニ對スル充分ナル精通ヲ保障セシメ更ニ母語ヲ以テ裁判所ニ陳述スルノ權利ヲ保障セシム

第十一條 法律ニ依リ例外ノ規定無キ限リ「ソ」聯邦一切ノ裁判所ニ於ケル裁判ヲ公開トシ被告ニ對シテハ辯護ノ權利ヲ保障ス

第十二條 裁判官ハ獨立ニシテ法律ニノミ服従ス

第十三條 凡テノ人民委員部及之ニ所屬スル機關並ニ個々ノ職員並ニ聯邦人民ニ依ル法律ノ正確ナル遵守ニ對スル最高ノ監督ノ任ハ「ソ」聯邦檢事ニ之ヲ課ス

第十四條 「ソ」聯邦檢事ハ七年ノ期間ヲ以テ聯邦最高會議之ヲ任命ス

第十五條 共和國、地方、州檢事並ニ自治共和國、自治州檢事ハ五年ノ期間ヲ以テ聯邦檢事之ヲ任命ス

第十六條 管區、區及市檢事ハ聯邦檢事ノ確認ヲ經テ構成共和國檢事五年ノ期間ヲ以テ之ヲ任

命ス

第十七條 檢事局機關ハ專ラ聯邦檢事ニノミ服従シ一切ノ地方機關ヨリ獨立シテ其ノ職務ヲ行使ス

第十章 人民ノ基本的權利及義務

第十八條 「ソ」聯邦人民ハ勞動權、即勞動ノ量及質ニ對シテ、之ニ相應スル給付ヲ以テ保障セラレタル仕事ヲ受クルノ權利ヲ有ス勞動權ハ國民經濟ノ社會主義的組織、「ソヴェエト」社會生産諸力ノ不撓ナル發展、經濟恐慌ノ可能性ノ排除及失業者ノ清算ニヨリ保障セラル

第十九條 「ソ」聯邦人民ハ休息權ヲ有ス休息權ハ勞動者ノ倒壓的多數ノ爲ニ勞動時間ヲ七時間ニ迄短縮シ勞動者及勤務者ノ爲ニ毎年賃銀保持ノ儘休暇ヲ設定シ且勤務者ニ對スル奉仕ノ爲療養所、休息ノ家及俱樂部ノ廣汎ナル設備網ヲ提供シ之ヲ保障ス

第二十條 「ソ」聯邦人民ハ老齡並ニ疾病及勞動能力喪失ノ場合物質的保障ヲ受クルノ權利ヲ有ス

右權利者ハ勞動者及勤務者ノ國家費用ヲ以テスル社會保險ノ廣汎ナル發達、勤務者無料施療ノ給與並ニ廣汎ナル療養地網ノ提供ニヨリ之ヲ保障ス

第二百一十一條 「ソ」聯邦人民ハ教育ヲ受クルノ權利ヲ有ス

右權利ハ普通初等義務教育、高等教育ヲモ含ム教育ノ無料制、高級學校學生ノ大多數ニ對スル國家給費制、學校内ノ母語ニヨル授業並ニ工場、國營農場、機械「トラクター」配給所及「コルホーズ」ニ於ケル勤勞者ノ生産技術及農業ノ無料教育ニヨリ之ヲ保障ス

第二百二十二條 「ソ」聯邦ニ於ケル女子ハ經濟的、國家的、文化的及社會、政治的生活ノ凡テノ部門ニ於テ男子ト平等ノ權利ヲ附與セララル

是等女子ノ權利實現ノ可能性ハ男子ト平等ニ女子ニ對スル勞働權、勞働ニ對スル支拂ヲ受クルノ權、休息權、社會保險及教育ヲ受クルノ權利ヲ賦與シ、母子ノ利益ヲ國家ニ於テ保護シ、妊娠ノ際女子ニ對シ賃銀保持ノ儘ノ休暇ヲ與ヘ且廣ク產院、託兒所及幼稚園ノ設備網ヲ施シ之ヲ保障ス

第二百二十三條 「ソ」聯邦人民ノ權利平等ハ民族、人種ノ如何ヲ問ハズ經濟的、國家的、文化的、社會、政治的生活ノ全般ニ互リ不變ノ法則ナリ

人民ノ人種的又ハ民族的所屬ヨリシテ如何ナル直接又ハ間接ナル權利ノ制限モ乃至反對ニ直接又ハ間接ナル特權ノ設定モ又ハ同様ニ人種的乃至民族的排他性、憎惡、輕侮ノ宣傳モ法律ニヨ

リ處罰セララル

第二百二十四條 人民ニ對シ良心ノ自由ヲ保障スル爲「ソ」聯邦ニ於テ教會ハ國家ヨリ、學校ハ教會ヨリ分離セララル宗教的儀典舉行ノ自由及反宗教的宣傳ノ自由ハ全人民ニ對シテ認めララル

第二百二十五條 勤勞者ノ利益ニ適合シ社會主義制度強化ノ目的ヲ以テ「ソ」聯邦ノ人民ニ法律ニヨリ左ヲ保障ス

- (イ) 言論ノ自由
- (ロ) 出版ノ自由
- (ハ) 集會ノ自由
- (ニ) 街頭行進及示威ノ自由

是等ノ權利ハ勤勞者及其ノ團體ニ對シ印刷所、紙、公共建造物、街路、通信手段其ノ他之等權利行使ノ爲必要ナル物質的條件ヲ提供スルコトニヨリテ之ヲ保障ス

第二百二十六條 勤勞者ノ利益ニ適合シ人民大衆ノ組織的自主行動及政治的活動ノ發展ヲ目的トシ聯邦人民ニ對シ職業組合、協同組合、青年團體、「スポーツ」及國防團體、文化的、技術的及學術的團體等ノ公共團體結成ノ權利ヲ保障ス而シテ勞働階級及其ノ他勤勞層ノ中最モ積極的ニシ

テ且意識的ナル人民ハ社會主義制度ノ鞏化發展ノ爲ノ鬭争ニ於テ勤勞者ノ前衛隊ヲ爲シ且一切ノ勤勞者ノ公共的及國家的團體ノ指導的核心ヲ爲ス處ノ全聯邦共產黨（「ボリシエヴィキ」）ヲ結成ス

第二百二十七條 「ソ」聯邦ノ人民ハ身體ノ不可侵ヲ保障セラレ何人モ裁判所ノ決定又ハ檢事ノ同意無クシテ逮捕セララルコトナシ

第二百二十八條 人民ノ住居ノ不可侵及信書ノ祕密ハ法律ニヨリ保護セラル

第二百二十九條 「ソ」聯邦ハ勤勞者ノ利益擁護又ハ學術的活動若クハ民族解放鬭争ノ故ニ訴追ヲ受クル外國人民ニ對シ國內避難權ヲ賦與ス

第二百三十條 「ソ」聯邦各人民ハ「ソ」聯邦憲法ヲ遵守シ法律ヲ履行シ、勞働規律ヲ恪守シ、社會的義務ニ對シ誠意ヲ以テシ、社會主義的共同生活ノ法則ヲ尊重スルノ義務ヲ有ス

第三百一十一條 「ソ」聯邦人民ハ公共社會主義財產ニ付神聖且不可侵ナル「ソヴィエト」制度ノ基礎トシテ祖國ノ富及力ノ源泉トシテ且又全勤勞者ノ潤澤ナル文化生活ノ源泉トシテ之ヲ保全鞏化スルノ義務ヲ有ス

公共社會主義財產ヲ侵害スル者ハ全國民ノ敵ナリ

第三百二十二條 全國民的兵役ノ義務ハ法律ナリ勞農赤軍ニ於ケル軍事勤務ハ「ソ」聯邦人民ノ名譽アル義務ナリ

第三百二十三條 祖國ノ防衛ハ「ソ」聯邦各人民ノ神聖ナル義務ナリ祖國ニ對スル叛逆、宣誓違反、敵國ヘノ内應、國家兵力ノ毀損、間諜ハ最モ重大ナル罪惡トシテ法律ノ峻嚴ヲ盡シ處罰セラ

第十一章 選舉制度

第三百三十四條 一切ノ勤勞者代議員「ソヴィエト」即、「ソ」聯邦最高會議、構成共和國最高會議、地方及州勤勞者代議員「ソヴィエト」、自治共和國最高會議、自治州勤勞者代議員「ソヴィエト」並ニ管區、區、市及村（「スタニーツア」、「デレーヴニヤ」、「フートル」、「キシュラーク」、「アウール」）勤勞者代議員「ソヴィエト」ハ祕密投票ニヨリ普通、平等、直接選舉法ニ基キテ選舉人之ヲ行フ

第三百三十五條 代議員選舉ハ普通選舉ニシテ、心神耗弱者及裁判所ニヨリ選舉權剝奪ノ判決ヲ受ケタル者ヲ除キ、滿十八歳ニ達シタル一切ノ「ソ」聯邦人民ハ人種的及民族的所屬、信教、教育資格、定住、社會的出身、資産狀態及過去ノ行動ノ如何ニ拘ラス代議員ノ選舉ニ參加シ、且

被選舉人タルノ權利ヲ有ス

第三百三十六條 代議員選舉ハ平等選舉ニシテ各人民ハ一票ヲ有ス總ノ人民ハ平等ノ基礎ニ於テ選舉ニ參加ス

第三百三十七條 女子ハ男子ト平等ニ選舉及被選舉ノ權利ヲ享有ス

第三百三十八條 赤軍ニ勤務スル人民ハ凡テノ人民ト平等ニ選舉及被選舉ノ權利ヲ享有ス

第三百三十九條 代議員選舉ハ直接選舉ニシテ凡テノ勤勞者代議員「ソヴェエト」ニ對スル選舉ハ村及市ノ勤勞者代議員「ソヴェエト」ヨリ「ソ」聯邦最高會議ニ至ル迄直接選舉ニヨリ人民之ヲ行フ

第四百十條 代議員選舉ニ於ケル投票ハ祕密投票ナリ

第四百十一條 選舉ニ對シテハ選舉區毎ニ候補者推薦セラル

候補者推薦權ハ公共團體及勤勞者團體即、共產黨機關、職業組合、協同組合、青年團體、文化團體ニ對シテ之ヲ保障セラル

第四百十二條 各代議員ハ選舉人ニ對シ自己ノ活動及勤勞者代議員「ソヴェエト」ノ活動ヲ報告スルノ義務ヲ負ヒ且選舉人過半数ノ決議ニ基キ法律ノ規定スル手續ニ從ヒ何時タリトモ召還セラ

ルルコトアル可シ

第十二章 國章、國旗及國都

第四百十三條 「ソ」聯邦ノ國章ハ陽光中ニ描出セラレ且麥穗ヲ以テ圍マレタル地球上ノ鍵及槌ヨリ成リ構成共和國ノ各國語ニテ「萬國ノ「プロレタリア」團結セヨ」ナル銘ヲ有ス國章ノ上部ニハ五尖ノ星ヲ配ス

第四百十四條 「ソ」聯邦ノ國旗ハ旗竿ノ上隅ニ金色ノ鍵及槌ヲ表ハシ且上部ニ金色ノ縁取リタル赤色五尖ノ星ノ配サレタル赤地ヨリ成リ幅ハ長サノ二分ノ一ナリ

第四百十五條 「ソ」聯邦ノ國都ハ「モスコ」市ナリ

第十三章 憲法變更手續

第四百十六條 「ソ」聯邦憲法ノ變更ハ「ソ」聯邦最高會議ノ兩院夫々ニ於テ三分ノ二ヲ下ラサル多數ヲ以テ採擇セラレタル決議ニヨリテノミ行ハル

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日

明治二十六年八月二十一日



